

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和4年 6月 15日

福島市長 様

提出者

住 所 福島市山居41番地の2

氏 名 菅信建設株式会社

代表取締役 菅野英孝

電話番号 024-533-8168

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	菅信建設株式会社
事業場の所在地	福島県福島市山居41番地の2
計画期間	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日

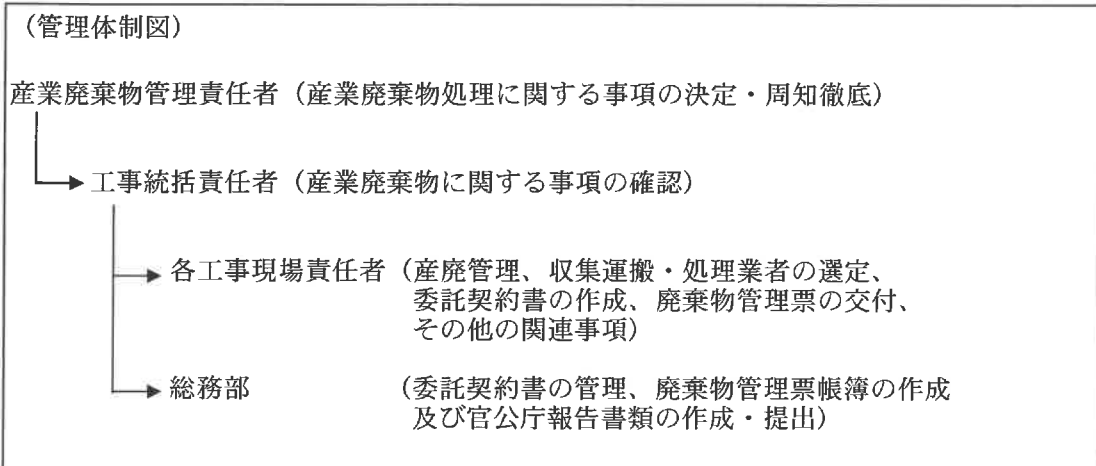
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	D06 建設業 総合工事業
② 事業の規模	56,235万円
③ 従業員数	14名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類 → 再生処理業者に委託して、再生骨材や再生路盤材として再資源化 木くず・紙くず → 分別し再生処理業者に委託できるものは、木チップとして再資源化 建設汚泥 → 再生処理業者に委託して、路盤材として再資源化 廃プラスチック類 → 最終処理業者に委託し、安定型最終処理

（日本工業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (令和3 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類_	別紙のとおり	
	排 出 量_	t	t
	(これまでに実施した取組)		
余剰材の発生しないような資材搬入と購入管理			
簡易梱包の依頼			
施工方法の検討			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	別紙のとおり	
	排 出 量_	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
現状通りの取り組みを適切に継続していく			
工法の改善に努める			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 発生現場においてコンテナ等を設置して分別を徹底し、できる限り再生資源化に努めている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 発生現場での適切な分別を徹底していく。廃プラスチック類は再生可能であれば、再生利用者へ搬出するように取り組んでいく。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
可能な限り分別し、再生利用に取り組む中間処理業者への搬出を優先する			

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への処理委託量	t t
	再生利用業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
	(今後実施する予定の取組)	
現状通りの取り組みを適切に継続していく		
※事務処理欄		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

- (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元
完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に
応じ
事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了する
ま
と。
での一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

請
じ
ま
と。

- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら
中
間
間
間
処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中
間
間
間
処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

中
間
間
間

- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託
量
行
行
行
量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施
令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回
収
あ
へ
施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）で
る処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者
への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

量
行
行
行
収
あ
へ

- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙の
と
お
り」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物
の
種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記
入
すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないとき
は、「一」を記入すること。

と
お
り
の
入

- 7 ※欄は記入しないこと。

【別紙】

項目		産業廃棄物の種類 ※量の単位はt(トン)							合計(t)
		がれき類	木くず	紙くず	廃プラスチック類	建設汚泥			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	現状	1218.07	5.53	1.31	5.74	3.02			1233.67
	計画	500.00	7.00	1.00	3.00	8.00			519.00
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	現状	0	0	0	0	0			0
	計画	0	0	0	0	0			0.00
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	現状	0	0	0	0	0			0
	計画	0	0	0	0	0			0.00
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分にに関する事項	現状	0	0	0	0	0			0
	計画	0	0	0	0	0			0.00
全処理委託量	現状	1218.07	5.53	1.31	5.74	3.02			1233.67
	計画	500.00	7.00	1.00	3.00	8.00			519.00
優良認定処理業者への処理委託量	現状	0	0	0	0	0			0
	計画	0	0	0	0	0			0.00
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	現状	1218.07	1.44	0	0	3.02			1222.53
	計画	500.00	6.50	0.50	1.50	8.00			516.50
認定熱回収業者への処理委託量	現状	0	0	0	0	0			0
	計画	0	0	0	0	0			0.00
定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	現状	0	0	0	0	0			0
	計画	0	0	0	0	0			0.00